

# wakaba

通信

わかば

## 「イーストの出会いに感謝」

手作りの藤の花の前で楽しそうに

お話しされていました♪

お二人はイーストで出会い、

今では大の仲良しです

あつとほ一むイースト



# Photo Album



特別養護老人ホーム

あつとほ一む若葉

「笑顔満開のお花見」

素敵な笑顔に癒されました



あつとほ一むレガーレ

「花植え後のティータイム」

たまには一緒にお茶しましょう



あつとほ一むウエスト

「七尾湾～海風が気持ちいい～」

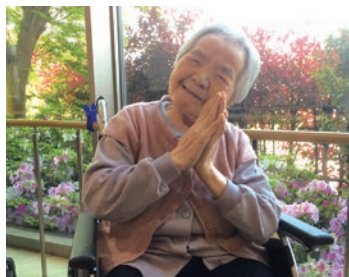
つつじ見の際に、食祭市場でひと休み



あつとほ一むコモド

「ご主人と米寿をお祝い」

ご主人と並んで米寿の記念撮影



養護老人ホーム

あつとほ一む若葉

「笑みも花も満開🌸」

満開のツツジに笑みも満開！



居宅介護支援事業所

あつとほ一む若葉

「難解パズルに挑戦」

毎月1作品完成させる目標で、毎日コツコツ楽しんでいらっしゃるそうです



## 各職種の役割と

### 大切にしている思い

#### あつとほーむレガール

介護施設では様々な職種が働き、互いに連携してチームワークで利用者さんを支援しています。

介護職や看護職、介護支援専門員など、同じ職種であっても、特養やデイサービスなど提供するサービスによって業務の内容は少し変わります。

そこで今回は、小規模多機能型居宅介護施設とサービス付き高齢者向け住宅で働く職員がどのような業務を行っているのか、サービスを提供するうえで大切にしていることは何かについて取材しました。



## 介護職



あつとほーむレガールには、小規模多機能型居宅介護施設（小多機）とサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）があり、双方の利用者さんへの介護や支援を行っています。

小多機の利用者さんには、健康チェックや、食事・排泄・入浴・移動の介助、水分補給、服薬介助のほか、泊りサービスの対応、ご自宅へ訪問介護に伺います。

サ高住の利用者さんには、定期的な巡回による安否確認や健康チェック、生活相談、食事提供を行います。また、介護が必要な方に小多機のサービスを提供しています。

大切にしていること

利用者さんに寄り添い、レガールで安心して

## 介護支援専門員

笑顔で過ごして頂けるように、親身に温かい対応を心がけています。



利用者さんが住みなれたご自宅を中心に安心して生活が送れるよう、『通い・訪問・泊り』のサービスを組み合わせさせて介護計画を立てます。

その方に合った週間予定を立て、ご本人、ご家族に確認したうえで1カ月のケアプランを作成し、サービス提供に繋がります。ご家族の急なご予定にも柔軟に対応させて頂きます。

その他に、必要に応じてご自宅で使用される福祉用具の手配や、住宅改修のお手伝いも行います。

また、介護保険に関わるデータ作成を担います。

大切にしていること

利用者さんとご家族の現在の困りごとを見定めることで、適切なサービスをその都度提供できるように努めています。安全で快適に在宅生活が送れるようお手伝いをさせていただきます。

## 看護職



利用者さんの健康管理や、創傷管理、医師往診時の対応、服薬管理、医療機関との予防接種の調整・補助等を行っています。また、

## 言葉にできない思いを汲み取り、寄り添う支援を

介護職員と同様に送迎や訪問サービス、レクリエーション、体操なども行います。

認知症の利用者さんが多いため、職種に関係なく全ての職員が多方面から支援する事で、利用者さんと馴染みの関係となり信頼関係を築けるのがレガール（小多機）の特長だと思っています。また、入居と通所の利用者さんが同じ建物内で過ごしているので感染症対策には注意しています。

大切にしていること

体調不良時や急変時に迅速に対応する事はもちろんですが、利用者さんの話を聞き、思いに寄り添った支援を行うことです。

特に認知症のご利用者さんの場合、表情やしぐさ・行動に目を配り、言葉に出来ない思いをくみ取りケアする事で、利用者さんが心から笑顔で過ごせるよう心掛けています。

また、送迎や訪問時に、ご家族にお会いした際には積極的に会話をしたり、入居の利用者さんに変化があれば、早めに連絡するなど、ご家族が気軽に連絡・相談できる看護師を目指しています。

複数の介護サービスを提供しているレガールでは、利用者さんを第一に考え職員間のコミュニケーションを密にしています。

今後も互いに相談しあい、皆様の「心からの笑顔」を守るように日々精進して参ります。

## 食のイベントで 楽しさをプラス

毎日の楽しみの一つであるお食事ですが、高齢になると食事が減ったり食欲がわかないことも少なくないです。

あつとほーむイーストでは、お食事の魅力の一つとして力を入れていきます。一年を通じて四季折々の食材を使ったメニューを提供し、利用者さんから好評を頂いています。



6種から選ぶおにぎりバイキング



毎月の行事には、テーマにあわせた行事食を用意し、季節の変化を食でも楽しんで頂いています。また、彩りも工夫をすることで、食が細い方の食欲増進に繋がっています。

ほかに、食事を楽しめるようにバイキング形式やセレクト食など、好きなものを選んで頂く機会を増やしています。

カフェのような気分で楽しめるドーナツやケーキなどのデザートバイキングは特に人気で、果物もならべ、甘いものが苦手な方にも喜ばれています。

「自分で好きなものを選んで楽しいわあ。」  
「なかなか食べることが出来ない食事で嬉しいです。」との声や、「普段と違うものを食べることで箸が進みます。」など、楽しく食事ができるとの声も多く聞かれます。

行事食がある時は利用日を追加して利用される方が増えています。

食生活に楽しさを持つと毎日の生活も生き生きとします。美味しい食事と和やかな時間が心と体の栄養にもなります。そのほか、お一人暮らしの方の生活を支えるため、持ち帰り弁当のサービスをしています。

デイサービスの帰り、ご自宅到着時にお弁当をお渡ししています。夜ご飯の準備に困ったり、単調なお食事にならないと安心の声を頂いています。

今後も食事を楽しんで頂けるよう取り組んでいきます。



父の日や母の日は  
日頃の感謝を込めた特製弁当を



## ご家族に手紙を送りたい



利用者満足度向上のため、また、利用者さんにとって楽しい時間を過ごして頂くため、デイサービスでやってみたく、叶えたいことを聞き取りし、リクエストにお応えする企画を取り入れていきます。

一人暮らしの利用者さんから、「最近、耳も遠くなり、電話も億劫になってきたけれど、県外の家族に元気である姿を手紙で知らせたい」と、リクエストがありました。そこで、お手紙を書く場を作り、行事等で撮影した写真を便箋に添えて、遠方の御家族に送りました。



利用者さんは、この日のためにご自宅で一生懸命下書きも考えてきて下さり、その後、ご家族から『若々しく元気で過ごしている姿が見られて嬉しかった。』と返事が届いた。」と、嬉しそうに教えて下さいました。

お手紙が、お互いの近況報告にもなったようで、良い機会になったと喜んで頂くことができました。リクエストにお応えする企画は毎月実施し、利用者さんからも好評です。今後も色々な声にお応えしていきたいです。

## 交流でいきいき

 養護老人ホーム  
あつとほ一む若葉

養護では、行事や活動を計画する際に利用者さんのご意見に耳を傾け、一人でお部屋にこもらず、積極的に活動できるように楽しみづくりを行っています。



今年は特に外部交流の機会を増やし、利用者さんのご希望や感想を反映した交流会をしています。

特にご希望が多いのは“子供たちとの交流”です。

地域の子供は家族だけではなく、地域ぐるみで面倒を見て、自分の孫のように可愛がっていた時代を過ごされてきた皆さん。「現代では、そのような光景がなくなってきて寂しい。」とお話を聞かせて頂きました。

そこで、5月に東みなとこども園の園児の皆さんとのオンライン交流会を開催しました。

利用者の皆さんは終始笑顔で子供たちとの交流を楽しまれていました。

子どもたちの演奏や歌声に利用者さんも一緒に手拍子をされ、身体を動かしてリズムを取られていました。質問コーナーでは、園児の皆さんとコミュニケーションをたくさんとることができ、最後に「ふるさと」を合唱しました。

オンライン交流会後は、「久しぶり



に小さな子とお話出来て嬉しかったわ。」「みんな一生懸命に演奏しとって偉かったね。」など、目を輝かせながらお話をされていました。子どもたちと関わる事で良い刺激になり、生き生きとした表情になっている利用者さんを見て、精神的な活性化にも繋がっていることが感じられ、交流から沢山の事が生まれていると実感できました。

今後、交流する世代を広げて、生徒、児童、園児のほか、赤ちゃんの愛らしい姿も見せてあげたいと検討しています。

これからも、利用者さんのご希望を反映した行事活動を行っていきます。

## 防災のとりくみ



救命救急について消防本部の方より講習を受ける職員

あっとほーむコモドは、住み慣れたご自宅で可能な限り暮らし続けられるように、通いサービス・訪問サービス・宿泊サービスを柔軟に組み合わせて生活を支援する施設です。

海に臨み、山に囲まれてとても景色の良い場所がありますが、公共サービスが少なく、山間部から通う利用者さんもあります。

このため、災害時においても継続的に安定したサービスを提供し、福祉施設としての役割を果たせるよう対策を考え取組んでいます。

コモドのサービス対象地域では、近年の自然災害で、寒波で数日間断水したり、風水害による山間部の土砂崩れや停電の影響を受けるなどして、利用者さんが不安な思いをされたり、通いサービスに来ることができない日がありました。

その経験を活かし、利用者さんやご家族が少しでも安心できるように災害に合わせた準備をしています。

昨年度は停電時の対策として、非常用自家発電機を設置しました。職員は万一の際はすぐに電力を切り替えられるよう訓練し、夜間や冬季の暖房、厨房設備が使用できるように準備しています。



最近能登では地震が続いています。利用者さんに協力を頂きながら、定期的に地震や火災を想定した訓練を実施しています。高齢者がとっさに机の下に隠れたり、移動することは困難です。そこで防災頭巾を作り、安全な避難行動に繋がっています。

また、七尾鹿島消防本部に依頼し、避難訓練の指導や救命の勉強会をしています。

災害が発生した際には、お一人で暮らす利用者さんは、災害情報や状況の把握が難しい場合があるため、大きな災害があった場合は困っていないか安否の確認も行っています。

今後も利用者さんが安心して過ごせる様に、そして地域の中で頼れる場所になれるよう努めていきたいと思えます。



## 利用者の思いが輝く 援助技術

### 居宅介護支援事業所 あつとほーむ若葉

ケアマネージャーが利用者さんを支援するうえで、その方の生活の質の維持と向上を目指すパートナーであり続けるためには、ケアマネージャー一人ひとりがケアマネジメント実務の「本質」を理解し、力量形成に磨きをかけていくことが大切です。

利用者さんへの支援は、利用者さんの意思や思考、感情など心の内にある様々な思いにケアマネージャーが寄り添い、共に考え、専門的知識と技術を持って共に取り組むことで実現します。

## 利用者様の歴史

あつとほーむ若葉

特別養護老人ホームを利用されている岡島龍子様インタビューさせていただきました。



岡島龍子様

大正4年2月18日生まれ、108歳。  
七尾市に生まれ、ご主人とお子さん3人で生活されていました。

- 職員 お若い時は何をされてましたか？  
岡島様 役員みたいな人しとったわ。子供は3人育てたわ。
- 職員 お子さんを3人も育てるのは大変でしたか？  
岡島様 そうでもなかったわ。
- 職員 心に残っている楽しかった思い出を教えてください  
岡島様 千里浜海岸、子ども連れてってねえ。
- 職員 千里浜ですか！良いですね！どうやって行かれたんですか？  
岡島様 汽車で羽咋まで行って、それから浜まで歩いていったわ。
- 職員 当時移動は汽車だったんですね。泳いだんですか？  
岡島様 貝(ハマグリ)ひろってん。あんな時はよくとれたよ。夫と子供3人で。楽しかったわ。(あの時のこと)時々考える。忘れられん。子供の学校が休みの時(夏休み)2度ほど行ったかね。今でも楽しいわ、思い出すと。
- 職員 素敵な思い出ですね。  
岡島様 私もそう思ったりん。
- 職員 よかったら千里浜の写真や動画をご覧になりますか？  
岡島様 ほお！持つとるがん？
- 職員 千里浜の写真と動画をお見せする。  
岡島様 おお～！こんな見せられると余計に思い出すわ。懐かしいわ～！良いこと思い出させてくれてありがとう。

ご家族みんなで千里浜へ行かれていた情景を想像すると、お子さん思いの家庭的な優しいお母さんだったんだと感じ、こちらの心までも温かくなりました。千里浜の写真や動画をお見せした時、岡島様がとても嬉しそうで、懐かしそうに微笑んでいらしゃった顔が印象的でした。インタビューの最後に、手を合わせて感慨深そうに「ようこそ、ありがとう。」と言って下さりました。私達職員にも温かく、いつも朗らかな岡島様の素敵な思い出を聞くことができて良かったです(^\_^) 貴重なお時間をありがとうございました。

が輝くための援助技術は、ケアマネージャーが行うべきケアマネジメントのエッセンス(本質)です。

介護保険制度は、三年に一度改正が行われ、そのたびに制度が変わることがあり、常に新たな制度について学んでいく必要があります。また、改正の間にも細かな見直しなどがあり、常に情報をアップデートしておかなければなりません。

あわせて、支援にかかわる際にはヘルパーやデイサービスの職員など、多職種が連携します。そこでは介護保険制度だけでなく、医療や福祉の全般的な知識が必要になります。

幅広い知識をカバーするための一環として、事例検討会といった勉強会も行っていきます。これは、実際にケアマネージャーがかかわった事例を元



に、ほかのケアマネージャーが集まって意見を出し合い、支援方法の振り返りや、支援の際に困難を感じている部分の解決策を模索したりするものです。

ケアマネージャーも人間なので、どうしても視点が偏ってしまう場合があります。そうした個人差を正すためにも、定期的な事例検討会を開催したり、研修を受講し、利用者さんが安心して暮らすための知識を蓄えています。

最後にケアマネージャーの重要な役割の一つである地域の社会資源の把握についてお伝えします。

社会資源とは、行政や施設、訪問理美容や配食弁当といったサービスのほか、地域ボランティアのようなインフォーマルな活動などもあります。

ケアマネージャーは、利用者

さんとご家族にとって身近に相談できる立場であるため、医療・福祉のみならず、幅広い情報や知識がないと支援ができません。

そのため、研修に参加して、多様な意見や情報に日頃から触れることで情報のアップデートを心がけています。

このように、ケアマネージャーは利用者さんが安心して暮らすための知識や情報を豊富に蓄えています。介護保険制度だけでなく、幅広い観点で高齢者を支援するプロフェッショナルとして、利用者さんにとって有益な支援方法を一緒に模索していきます。

介護保険を利用していなくても、ご高齢の方のことで何か困ったことがあれば、お気軽にご相談ください。

☎ 53・8703

## オンライン交流をしました

地域の学校や子ども園に協力を頂き、オンラインで繋いで交流をしています。  
画面に映るかわいらしい子供たちから、毎回沢山の元気をもらっています。

石崎小学校 様  
ななおあいじこども園 様  
東みなとこども園 様

令和5年2月～令和5年5月未まで

## ボランティアの受け入れについて

コロナウイルス感染予防のため、利用者様の健康と安全を最優先に考慮した対策を続けております。  
現在、地域の方との交流や、ボランティアの皆様の施設内への来訪を休止させて頂いています。

## ご寄付頂きありがとうございます

福祉の向上に心温まるご芳志をありがとうございます

利用者さんの為になるように使用させていただきます。  
皆様の温かい善意に感謝申し上げます。

清水 寛 様  
濱田 佐和子 様  
高野 順子 様  
西川 昭彦 様  
荒木 洋子 様

令和5年2月～5月未まで(順不同)

## 貴重なご意見をありがとうございます

**ご家族より**  
胃ろうチューブ交換受診の際、胃カメラ検査があるため、前夜9時以降絶食で受診したが、病院で検査予約が入っていないと言われた。

**改善結果**  
受診病院に確認したところ、検査の予約伝票に誤りがあったことを確認し、ご家族に説明致しました。

令和5年2月～5月未まで

あっとほーむは、地域に開かれた施設を目指しています。幅広く皆様に施設の取り組みを発信できるよう各事業所の日々の出来事や、取り組みをフェイスブックとInstagramに投稿しています。  
利用者さんの施設での様子をご覧いただけます。  
ぜひフォローをお願いします。



NOTOFUKUSHIKAIATHOME  
InstagramQRコード



フェイスブックQRコード

## 作成・編集 広報委員会

小山 真季 今田 京子  
柳下 奈緒 安達友季子  
泉 千香子 奥村 有紀  
本多 公美 田中 優子  
林 美智代

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉  
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

養護老人ホーム あっとほーむ若葉  
TEL.0767-53-8702 FAX.0767-53-8716

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉  
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

居宅介護支援事業所 あっとほーむ若葉  
TEL.0767-53-8703 FAX.0767-53-8718

訪問介護 ヘルパーステーション あっとほーむ若葉  
TEL.0767-53-8704 FAX.0767-53-8718

七尾市在宅介護支援センター あっとほーむ若葉  
TEL.0767-53-8713 FAX.0767-53-8717

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむイースト  
TEL.0767-53-6690 FAX.0767-53-6691

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむウエスト  
TEL.0767-54-0477 FAX.0767-54-0551

小規模多機能型居宅介護施設 あっとほーむコモド  
TEL.0767-59-1290 FAX.0767-59-1291

小規模多機能型居宅介護施設 サービス付き高齢者向け住宅 あっとほーむレガール  
TEL.0767-53-0071 FAX.0767-53-0072